

平成24年8月6日(月)～10日(金)

大和川河川事務所と奈良県は、イオンモール大和郡山にて、「ぼくたちわたしたちの大和川」と題した、大和川の水害や水環境に関するイベントを開催しました。

期間中は昭和57年の水害や、水質に関するパネルを展示するとともに、大和川博士らによる特別講座を開催しました。

「ぼくたちわたしたちの大和川」展

大和川流域に大きな被害をもたらした昭和57年8月の大洪水から今年で30年を迎え、当時の大水害を振り返ることで、災害の記憶を風化させることなく防災意識向上につながる企画を行いました。

＜主な内容＞

- ・語り継ぐ大和川大水害の記憶 ～30年前のあの日～ パネル展示
- ・大和川博士による環境・防災講座(テーマ:大和川の災害、治水対策、河川の水環境)
- ・子ども絵画展(コンクール入賞作品)、水環境パネル展
- ・谷先生による「川のいきもの講座」

イベントの様子

夏休み時期のお盆前ということもあり、多くのお買い物客でにぎわい、パネル展示会場にも連日買い物客、家族連れ、学生など、5日間で延べ5,000名の方々に訪れていただきました。



大和川の昭和57年の洪水や、最近の治水対策のパネル展示の様子

最近テレビ等で頻繁に洪水被害が報道されているなか、身近な大和川でもかつて大水害が発生していたことを知らない方も多く、関心を持って見ている方が多いと感じました。水害や治水に関する質問をいくつも受けましたが、当時のことを記憶されている方もおられ、当時の思い出について聞くこともできました。

大和川博士講座や、谷先生の川のいきもの講座では、子供たちを中心に、洪水の恐ろしさや、それに対する大和川の治水対策、河川の水質・生物について学んでいただきました。

また、ご家庭でもできる防災対策や大和川をきれいにする工夫のあれこれについても学習しました。



大和川博士(と助手)の特別講座



谷先生のいきもの講座